



実施に際しての感染症対策ガイドライン

2020 年度 冬期 検定試験の実施にあたり、新型コロナウイルス等の感染症拡大防止を目的とした「受験される方にご留意・ご協力いただきたい項目」についてご案内いたします。

本ガイドラインについて受験前によくご確認いただき、内容にご同意いただいた上でご受験いただけますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

※ 本書にてご案内する対策および注意事項は、政府及び関連機関が発表したガイドライン等を踏まえ、当協会検定試験の実施に際して必要と判断した内容をまとめています。

1) 2020 年度 冬期 検定試験 実施可否について

現時点（2020 年 12 月 21 日）の状況においては、予定通り実施すべく準備を進めております。ただし、下記の事象が発生した場合、中止の判断を行う場合があります。

- A) イベント中止の要請を含む緊急事態宣言の発令が全国で発令された場合
 ※一部地域で緊急事態宣言が発令された場合で当協会が公開会場を設置している地域が該当した際は、当該地域の公開会場を閉鎖（検定試験実施中止）といたします
- B) 感染症拡大状況や社会情勢に大きな変更が生じた場合
- C) 受験者の感染予防対策・感染症拡大防止策、ならびに、試験開催準備（資材運搬・会場確保・運営スタッフ確保等）に重大な支障が発生した場合

実施可否に関わる情報は、逐次更新される場合がありますので、当協会 HP のご確認をお願いいたします。

2) 試験会場来場時のお願い

① 下記事項へのご協力と同意をお願いいたします

- 試験会場における感染症拡大防止への協力
- 咳エチケットの徹底、マスクの持参および会場内でのマスクの着用
 （会場にマスクは用意しておりません。着用いただいていない場合は、入場をお断りします。）
- 会場におけるこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施
- 必要に応じて保健所等の公的機関に個人情報提供され得ることへのご同意

② 試験当日および試験日前約 2 週間におけるチェック実施をお願いいたします

- 試験当日の体温測定
- 試験日より約 2 週間前から当日にかけての以下のチェック項目の実施
 - 感染症に罹患し、治癒していない
 - 概ね 37.5 度以上の発熱があった / 試験当日の検温で 37.5 度以上の発熱があった

- 咳・のどの痛み・だるさ・息苦しさがあった
- 嗅覚や味覚の異常があった
- 通常より身体が重く感じた・疲れやすかった
- 新型コロナウイルス陽性とされた方と濃厚接触のしたり、同居する方や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- 医師または保健所等の指示により試験日時点で自宅待機となっている
- 過去2週間以内に政府から入国制限・入国後の観察期間が必要と発表されている国・地域等への渡航歴がある

チェック項目に1つでも該当する場合は、他のご受験者への感染のおそれがあるため、来場・受験をご遠慮ください。

尚、感染防止理由による試験欠席の場合は、次回試験への受験繰越の対応をさせていただきますので、当協会までお申し出ください。

3) 試験会場での対応

試験会場では、下記の項目に従い会場の設営および運営を行います。

- 試験会場の施設内に、石けんや消毒用アルコールを設置する等、手指の衛生を保つことのできる環境整備に努めます。
- 試験会場では、試験の実施に支障が生じない範囲で窓やドアを開けるなど、換気に努めます。寒暖の調整ができる服装でお越しください。
- 試験会場内の配席は、可能な限り受験者相互に1メートル以上の間隔を取るよう努めます。
- 試験会場内の移動により受験者等が密集することのないよう、入室・退室を一齐に行わないように配慮します。
- 試験当日に発熱や咳等の症状がみられた場合は、退出をお願いすることがあります。その場合、受験料の返金や繰り越しはいたしません。
- 会場内では、運営スタッフもマスクを着用して運営をいたします。
- 運営スタッフは、受験者との直近での対面を避けた対応となります。
- 会場設備等は、アルコール消毒の実施に努めます。
- 会場内では、大声の会話は慎んでください。
- 通常は、体調悪化などの場合を除き、途中退室を認めておりませんが、密状態を緩和するため、試験終了時間の15分前までであれば、順次退室することを許可いたします。尚、退室後の再入室（試験継続）は認められません。
- 感染防止対策用品（消毒用ティッシュ・消毒液等）の会場内への持ち込み、試験中のビニール手袋の着用を許可します。

追記：機能についてご納得いただける場合、国の接触確認アプリ「COCOA」をご活用ください。

以上